

令和元年 11 月 22 日（金）

**1 学年外務省高校講座**

講演では、外務職員の仕事と生活について、ご自身の経験を基にお話をいただきました。大学まではあまり勉強が好きではなかったが、22歳で外務省に入省。国費留学などの経験をしながら、本気になって勉強を始め、44歳でメルボルン大学にて博士号を取得したそうです。そんな氏が勧める英語の勉強法は、耳で聞いて、楽しく勉強する「ドラマ 30分丸覚え作戦」だそうです。

さて、講演は日本が世界からの評価が高いこと、日本人はモテルこと、語学の大切さ、外務職員としての仕事内容など、生徒への質問を交えながら軽快に進みました。外務省の話は、難しくてつまらないのでは？という心配は見事に裏切られ、生徒達は話にどんどん引き込まれていく様子が伝わってきました。そして、最後は生徒からのたくさんの質問に、深堀さんは丁寧にお答えいただきました。講演を聞いて外務省の仕事に興味を持った生徒、働くことへの視野が広がった生徒が多くいたことと思います。

目的 現役外務省職員の講演を聞くことで、外交・国際問題に対する関心や理解を深め、職業選択の意識向上を図る

日時 11月22日(金)13:00~14:20

対象 本校1学年生徒

講師 アジア大洋州局 地域協力室長 深堀 裕賢 氏

